

第83回サイエンスカフェ
2013.10.18 (金) 18:30~20:30

ADHDを巡って

—脳科学と最新医学の立場から—

ゲスト お茶の水女子大学教授

榎原 洋一さん

コーディネーター

お茶の水女子大学名誉教授

室伏きみ子さん

注意欠陥多動性障害 (ADHD) は、かつては (そして今でも) 家庭や教室で多動と不注意などの症状を示す、一時的な「子どもの」障害と考えられてきた。しかしその脳内過程の解明と、青年期まで持続する二次障害の存在によって、一生にわたる 脳の実行機能障害であることが明らかになってきた。

ADHDの脳科学と、大人の脳機能障害としてのADHDについて最近の考え方を紹介したい。

会場: サロン・ド・FUZAMBO Folio

千代田区神田神保町1-3 富山房ビルB1

Tel: 03-3291-5153 E-mail: folio@fuzambo-intl.com

参加費: 1名1,000円(1ドリンク、デザート付)

主催: 日本学術会議・富山房インターナショナル